

## 国連人間居住計画(ハビタット)事務局次長

### 略歴

ビクター・キソブ

国連ハビタット事務局次長/国連事務次長補

(英語表記)

Mr. Victor KISOB

Deputy Executive Director, UN-Habitat/

UN Assistant Secretary-General



国 籍: カメルーン

学歴: 米国・ワシントン DC アメリカン大学大学院開発金融学 修了

米国・ミネソタ州 セント・ジョーンズ大学経済学部 卒業

1989年に国連に入り、特に2001年から2018年にかけては主に人事関連の要職を歴任した。国連事務局人的資源管理局学習開発・人事サービス部長(2015-2018)就任時、2017年10月に国連合同アウトリーチ・ミッションの団長(国連機関合同就職説明会の説明者)として来日し、堀井巖外務大臣政務官(当時)を表敬。2016-2017年には、国連人的資源管理担当事務次長補代行を兼任している。国連エボラ対応リエゾン事務所長(2014-2015)、国連事務総長室主席事務官(2012-2014)、国連事務局職員サービスチーフ(2008-2012)、国連ウィーン事務所採用・登用チーフ(2001-2008)。

2018年10月に国連ハビタット事務局次長として着任。マイムナー・モハメド・シャリフ事務局長と共に国連ハビタット全体のマネジメントや現在進行中の組織改革、そしてニュー・アーバン・アジェンダ、持続可能な開発目標(SDG)11、持続可能な開発のためのアジェンダ2030における都市に関する側面の実現に取り組んでいる。